
IS ホンモノノチカラ

仮面騎士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS ホンモノノチカラ

【Nコード】

N3789X

【作者名】

仮面騎士

【あらすじ】

主人公『天満克己』は神のミスでISの世界に転生をした。

「私は織斑一夏。よろしくね？」は？なんで一夏が女なの？
なんで一夏の幼馴染なの？

克己は叫ぶ、「不幸だああーっ！！」

これは何の因果なのかバランスが崩壊した世界で仮面ライダーの力を操り思うままに（じゃなくね？）生きていく元・青年の物語。

「俺は弱いさ。だからって相手なんかに媚びられねえんだよ！」

現在作者が大幅に小説プロットを改変しているため更新凍結中

Gとの邂逅／転生／（前書き）

はじめまして仮面騎士です。遅くとも月一で更新します。
微妙なですがぜひ観てください。

Gとの邂逅と転生

目が覚めると俺は知らないところに居た。

そして、俺の目の前には土下座で謝罪をする痛々しい老人が居た…

「ホントすみませんでしたああ！！！」

「いきなり言われてもわからねええええっ！！！」

すると一人の美女と一人の美青年がやってきて…

「そこまでにしなさいハーデス。この坊やが絶叫してるでしょう？」

「すまないな、すぐに立たせよう。ほらハーデス、立つんだ。」

開いた口がふさがらないとはこういうことを言うのだろう。

「あの……あなた方はどちらさまですか？」

「くくく・・・質問がおかしいぞ少年。私はゼウス。天界の神だ。」

「私はヘラ。ゼウスの妻よ。」

「わしはハーデス。冥界の神だ。」

まさかの神様ですか？

「坊やは死んだのよ。ハーデスの失敗だね。」

「へ？」

数分後・・・・・・

「つまり…俺は本来死ぬはずの人を助けて車に撥ねられた。しかし本来助かるはずがハーデスさんの失敗で死んでしまった・・・ということですか？」

「そういうことだ。少年。」

「本当にすまぬ！」

これ以上はハーデスさんが見苦しいのでハーデスさんの肩に手を置き、言う。

「ハーデスさんがわざとやっていないことは話を聴いていればわかります。ですから誤る必要も頭を下げる必要もありません。申し訳ないって気持ちだけがうれしいですから。」

「うつうつ…主…かたじけない…」

「ふうん。優しいじゃない。」

「罪を憎んで人を憎まず。たとえ殺されてもハーデスさんを責めるのはお門違いです。」

「くくく…少年はすばらしい人物だな。」

なぜかゼウスさんとヘラさんに感動された。

「それで・・・俺はどうなるんですか？」

「ああ、少年は転生するから。」
「・・・は？」

ヘラさんがゼウスさんを叩き、叱る。

「ゼウス、それじゃあ駄目じゃない。伝わらないわ。いい、坊や？
あなたは本来輪廻の輪に入るの。でも坊やは運命を変えた。さらに
その死は神の失態。だから坊やには別の世界で新しい生活をしてもら
うわ。」

ヘラさん、すげー丁寧。

「俺はこの世界で暮らすのですか？」

「主はISの世界で暮らしてもらう。」

「だから少年には自分のISを考えてもらう。」

ISなあ…

正直イメージがわからない。

まったく違うものだが俺は仮面ライダーが大好きだ。

龍騎、カブト、W、オーズなんだが…

龍騎はミラーワールドじゃないと真価が発揮できない。

カブトはとにかくチートすぎ。

Wは難しい。

オーズはメダルチェンジに隙がある。

どうしたものか…

そういえばWの映画にかっこいいライダー居たなあ。

あいつでいいかな。

チートすぎないし、でも強いし。

「仮面ライダーエターナルの映画Ver.をお願いします。」

「 よろしい。 ならばがんばるのだよ。 少年。 」

俺は新しい道を踏み出した。

主人公&もろもろ設定（前書き）

プロットを大幅に修正しすぎて更新できなくて…無念…

主人公&もろもろ設定

天満克己

もはやお約束の神様のミスで転生した主人公。

根っからのツツコミ体質&巻き込まれ体質。

喧嘩に関われば基本的にボコされ、他人の趣味に口を出そうものなら相手にトラウマを植え付けるまで命を狙われたりする。

前世での人間関係はかなり複雑で三人の幼馴染以外に友達はいなく、両親も幼くから他界している。

そのために仲間が傷つきようものなら敵を完膚なきまで、破壊する。

趣味はバイオリン、料理、読書。

料理は高級レストラン並みの出来。バイオリンに至ってはソロコンサートを開いても問題はない。

尊敬する人物は仮面ライダーカブトの天道総司。
偶に天道のセリフをパクツたりする。

女性からの好意にはほぼ無関心。

前世の幼馴染の一人に惹かれていた。

使用ISは仮面ライダーエターナルの姿と力のまんまの「エターナル」

そしてオーズのプティラコンボとタジャドルコンボの「オーティドル」

オーティドルに関しては神様のただの気まぐれ。

神様の多大なる気まぐれにより、身体能力MAX、危機察知MAX、そして超フラグ自動生成能力が備わった。

しかし超フラグ自動生成能力に関しては、本人も自覚していない。

愛想は悪いが基本的にイイ人なので超フラグ生成能力は多大な効力を発揮している。

転生後は幼馴染となった一夏を気遣い、支えようとする毎日に追われている。

主人公&もろもろ設定（後書き）

これがプロフィールです。

もしかしたら増えます。

Kの始まり〜女難とフラグとES学園〜（前書き）

本編に入ります。

Kの始まり〜女難とフラグとIS学園〜

俺の名前は天満克己。

てんまんじゃない。あくまでもテンマだ。

俺は今どこにいるかわかるか？

女の園。またの名を兵器の教導学園。

すなわち……IS学園だ。

俺は今廊下にいる。

クラス？ 壱組だよ。原作の舞台の。

もう憂鬱だぜ。幼馴染があいつだし…信じられないこと起きてるし…
なにかって？ あれだよ。あ……

「まだ紹介していない奴がいる。天満、入れ。」

おっと失礼。お呼びがかかったよ。

ガラガラとドアを開けて教室に入る。

教室は静まり返っている。

ちらっと中を見渡すと予想どおり（というより当たり前だが）女しかない。

その中に幼馴染が二人いた。

ポニーテールの仏頂面とショートカットの無邪気そうな顔。

片方は言わずもがな篠ノ乃箒。

もう一人はなんと、あの、織斑一夏だ。

びつくりだよ。なんで一夏は女なんだよ。
幼馴染でもつとびつくりだよ！

「天満、自己紹介をしろ。」

そういつてきたのは担任で織斑一夏の姉である織斑千冬。
何気に俺の理解者だったりする。

「ういっす。了解しました、千冬さん。」

「はあ……………ここでは織斑先生と呼べ。」

怒られた。しかし道理には適っているから言うことは素直にきく。

「すいませんでした。」

「わかつているならいい。」

息を吸い込み教室全体をみて自己紹介を開始する。

「天満克己、高校男児、十五歳だ。漢字では「天満」と書くが、テンマンではなくテンマと読む。あだ名でも名前でも好きな風に呼んでくれ。以上だ。」

そしてすぐに耳を塞ぐ。

そのすぐ後……………

『キヤアアアアアアアアアアッ！！！！！！』

「男よ！ホンモノよ！」

「カツコいいわあああ！」

確実に口クな学校生活になるとは思えなかった。

休み時間、授業を九割聞き流しているいろいろ考えていた。
すると……

「「ねえ（なあ）克己？（……………）」」

「なんだ？」

「「話があるんだけど（が）……………」」

話しかけてきたのは幼馴染二人だった……………

Kの始まり〜女難とフラグとIS学園〜（後書き）

今回かなり少な目……

次回まで待つてください。

次回は金髪お嬢様がです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3789x/>

IS ホンモノノチカラ

2011年11月27日21時52分発行